

1 日 時 平成29年7月27日（木）午後7時から7時50分

2 場 所 東淀川区役所 2階 201会議室

3 出席者の氏名

（東淀川区区政会議 魅力あるまちをつくろう！部会委員）

藤野 進議長、中井 まひる副議長、熊谷 佳織委員、中村 由紀美委員、乗上 永枝委員

（東淀川区役所）

畠山地域協働まちづくり担当課長、古川保健福祉課地域協働まちづくり担当課長代理、  
西村総合企画担当課長、中島企画調整担当課長、渡邊窓口サービス課長、山田保険年金担当課  
長、上村総務課長代理、池辺保健福祉課担当係長、島田保健福祉課担当係長 他

4 委員に意見を求めた事項

議題（1）（仮称）東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて～（素案）について

（2）平成30年度取り組みの方向性について

5 議事内容（発言者氏名及び個々の発言内容）

○池辺係長 それでは、すみません、定刻になりましたので、ただいまより平成29年度東淀川  
区区政会議第2回魅力あるまちをつくろう！部会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、お忙しいところ、また夜間にも関わらずご出席を賜りまして、  
誠にありがとうございます。

本日の司会を務めさせていただきます、東淀川区役所保健福祉課地域協働担当池辺でござい  
ます。よろしくお願いいたします。初めに、地域協働まちづくり担当課長の畠山よりご挨拶申  
し上げます。

○畠山課長 皆さんこんばんは。地域協働まちづくり担当課長の畠山でございます。本日は、  
何かとお忙しい中、区政の推進に向けてご協力賜りまして、誠にありがとうございます。

本日の部会につきましては、「東淀川区の将来ビジョン～2022年に向けて～（素案）」につ  
いてご議論願うことと、「平成30年度の取り組みの方向性」についてご議論を願いたいと思っ  
ております。何分限られた時間ではございますが、よろしくお願いいたしますと思います。

私からの挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○池辺係長 続きまして、本日の定足数の確認をいたします。本日、5名の魅力あるまちをつ

くろう！部会委員のご出席いただいております、出席者数の委員定数7名の半数以上でありますので、この会議は有効に成立していることを報告させていただきます。

毎回のご案内ですが、本日の議事録につきましては、区政会議の委員の定数の基準及び会議録等の公表等に関する規則の規定に基づき、発言者ごとに氏名とその発言内容を記載した議事録により後日公表させていただきますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

会議録案ができ次第、本日発言いただきました委員の皆様にご確認いただきたいと思っております。後日、文書をお送りさせていただきます。

また、本日、会場で何枚か写真を撮らせていただき、ホームページなどに掲載させていただきます。掲載に支障があるという方は、後ほど事務局にお声かけいただきますようお願いいたします。それでは、ここから藤野議長に進行をお願いいたします。

○藤野議長 議長の藤野です。よろしくお願いいたします。

今日は8時から本会もありますので、短い時間となりますが、議事次第、内容もいっぱいありますので、活発なご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。

それでは、早速議題に入ります。お手元の次第をご覧ください。

まず議題の1番「（仮称）東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて（素案）」について、議題の2「平成30年度の取り組みの方向性について」、区役所より説明をお願いいたします。

○畠山課長 地域協働まちづくり担当課長の畠山です。私のほうから将来ビジョンに関わる部分の一部を説明したいと思います。お手元の「（仮称）東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて（素案）」という資料を見ていただきたいと思います。

皆様方には、今年度に入りまして東淀川区の将来像についてたくさんのご議論をしていただきました。また、この魅力あるまちをつくろう！部会では、これに先立ちまして昨年度にめざすべき将来像についての提言もいただいております、非常に有益なご意見をたくさんにいただき、本当にありがとうございました。

主な内容といたしまして、お手元の資料の4ページをあけていただきたいと思います。当部会のメインテーマでございます…

○藤野議長 課長いいですか。事前に事務局のほうから郵送されている資料の送付資料の2番ですね。

○畠山課長 2番です。

○藤野議長 資料の2番、送付資料2番。

○畠山課長 右上に「東淀川区将来ビジョン～2022」と書いた資料です。

○藤野議長 送付資料2。

○畠山課長 それです。その4ページをまず開いていただきたいと思います。

主な内容といたしまして、当部会のメインテーマでございます「自助・共助を担う地域力と

にぎわいのある元気なまち」をご覧いただきたいと思います。

まず、(1)の「自助・共助を担う地域力のあるまち」につきましては、地域コミュニティの充実について記載させていただいております。このテーマにつきましては、当部会はもちろんのこと、他部会の皆様からも非常にたくさんのご意見をいただきました。他の分野の課題解決にも大きく影響する重要なテーマでございます。地域の皆様への区役所から情報提供、つながりづくりへの支援、区民の皆様への情報発信を進め、向こう三軒両隣の身近な単位から町会単位、そして地活協単位まで、地域活動の活性化に取り組み、豊かな地域コミュニティづくりに取り組んでいくことを記載させていただいております。

(2)「にぎわいのある元気なまち」につきましては、当部会及び教育・子育て部会からいただきました提言を基本として、多様な主体によるにぎわいづくり、元気なまちづくりについて取り組んでいく旨を書かせていただいております。私の説明のほうは以上でございます。

○西村課長 引き続き、総合企画担当課長の西村です。今の資料の8ページ、最後のページをご覧ください。当部会のもう一つのテーマでございます5番の「区民の役に立つ区役所があるまち」でございます。(1)としまして「区民の役に立つ区役所・住民参画型の区政運営を担う職員づくり」、(2)としまして「伝えて、行動につなげる情報発信力の強化」、(3)としまして「快適・迅速・確実な窓口サービス」と、この3本を柱といたしまして、それぞれのめざす状態と施策展開の方向性を記載させていただきました。いただきました個別のご意見に対する将来ビジョン(素案)への反映状況につきましては、もう一つ送らせていただいております送付資料3というものをご覧ください。横長の資料でございます。

ここに「(仮称)東淀川区将来ビジョン～2022年に向けて～(素案)の区政会議意見反映状況」ということで、区政会議の各部会や学習会のほうでご議論いただいたそれぞれの意見について左のほうに書かせていただきまして、右のほうにそれがどこに該当してどのように反映していったかというのをこの表でお示しさせていただいておりますので、ご参考にご覧いただきたいと思います。

今後、現在作成中となっております、第1章の前文でございますとか、統計資料等の整備、それからまた、本日いただきました意見の反映等も行いまして、今後、9月開催の部会におきまして、皆様に改めまして、「将来ビジョン(案)」として提示させていただきまして、その後、11月ごろにパブリックコメントを実施して完成と考えております。その過程におきましてもご意見をいただければと思います。

また、これから取り組んでまいります、平成30年度の運営方針の策定にあたりましては、このビジョンのめざす将来像のために何をしていくべきかということでご意見をいただければと思いますが、特に重点的に取り組みを進めたい項目につきましてご議論いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

将来ビジョンについては以上でございます。後ほど内容や今後についてご意見いただきましたらと思いますので、よろしくお願ひいたします。以上でございます。

○藤野議長 ありがとうございます。では、今ご説明いただいた将来ビジョンについての内容や方向についてご意見を伺いたしたいと思います。

ご意見のある方は挙手でご発言をいただきたいと思ひます。発言録の記録の都合上、挙手をいただいて私からの指名の後、名前を名乗っていただいた上でご発言いただきますようお願いいたします。それでは、ご意見のある方は挙手をお願いいたします。

ないようでしたら、この後、30年度の取り組みについて、また議題がありますので、そちらも踏まえて何かありましたらそのときにでもいただけたらと思ひます。

では、続きまして「平成30年度の取り組みの方向性について」ということで、資料4、ページをめくっていただきまして、事務局からお送りいただいた資料4の1ページ目をごご覧ください。縦長の資料になります。

6月29日の部会の際、学習会としてワークショップをしたんですけれども、その際に委員の皆様からたくさんのご意見をいただきました。それを事務局のほうで整理していただいたものがこの資料になります。今日、この後、本会のほうで30年度に向けた取り組みの方向性というところで、一応議長から部会の報告をさせていただくんですけれども、その際にこの事務局のほうでまとめていただいた項目の中から幾つかの報告に絞って報告をさせていただきたいと思ひていて、当部会として特にこの項目は重要だということ報告する事項を決めたいと思ひますけれども、いかがでしょうか。どうですか。

一応、この19項目の中から数を絞って報告をしたいと思ひますので、前回のワークショップのときに委員の皆様からいただいた意見ということで、特にこの意見を報告してほしいというものを ご意見いただけたらと思ひます。

○乗上委員 豊里南の乗上です。11番のにぎわい、子どもが元気なまち・情報発信できるイベント・区民まつりの活性化。これからと思ひますけど。

○藤野議長 そうですね。一応、平成28年の運営方針の自己評価についても、今回区民感覚についても特に触れようと思ひますので、その内容は触れてもいいかな、と。他、いかがでしょうか。熊谷委員、よろしくお願ひします。

○熊谷委員 大桐地区の熊谷です。魅力あるまちをつくろう！部会なので、項目で見るとという中からは幾つか重点的にしていったほうがいいかなと思ひますけれども、大きく分けて河川等の整備ということと、子どもと防犯等々3つぐらいに分かれるので、その中から絞り込んで、選んでいったらどうかと思ひます。

○藤野議長 ありがとうございます。この魅力の中でも、例えば13番の緑化整備、高架下に公園をつくるであるとか、そういうどちらかというとハード的なものというのは、区の施策とし

てやることではないものになってくるので、どちらかという、例えば14番の年配の方も子どもも元気なまち、安全な遊び場として学校を開放するとか、コンビニを活用していくとか、それとか同じ16番、こどもが楽しめる大きなイベントとか、そういうところがいいのかなと思っているんですけど。

この12番、結構、その後も今も含んではいるんですけども、文章的に何かこうしていったらいいというのがあれば言っていただけるといいなと思うんですけども。

中井委員、どうぞ。

○中井委員 公募の中井と申します。魅力あるまちをつくろう！部会ならではのものをピックアップされるといいかなと思っているんですけども、私が4つぐらい絞り込んだのは、魅力とにぎわいの部分の意見が出たんですが、情報発信の部分がどの部会でも恐らく課題にはなっているんだろうけれども、取り組みづらいところだと思うので、どんどんこの魅力とかにぎわいという部分で魅力発信プロジェクトのほうも部会のほうから発足されましたし、より区民の方の近い位置づけにいる部会かなと思いますので、情報発信の部分もちょっと入れてみたらどうかと思います。

○藤野議長 ありがとうございます。中村委員。

○中村委員 豊新の中村です。情報発信、ここに書いてある項目と逆に違うんですけども、ほかの部会が挙げている問題点等も、つなぐといたら変ですけども、横のつながりの魅力あるまち部会だけで出た課題だけではなくて、そこをつなげるのもこの部会ならではの思うので、各部会で出た中で情報発信が必要なものというもの、取り組みとか課題とかで協力できるものは先頭に立って一緒に集約して、情報発信の枠づくりといたら変ですけども、区の政策としてされていてこれからの課題であったり、解決したものというのはある意味別の魅力の発信になると思うので、そういう情報を集約する役割も持ってもいいんじゃないかなと思いました。

○藤野議長 ありがとうございます。そうですね。情報発信、この文章を今回まとめてもらったものだけではなく……

○中村委員 まちづくりなので、ほかの部会から出た課題というのもまちづくりの提案になってくると思うので、そこを改善したり、取り組むことが魅力につながっていくのではないかなと思うので、福祉であったり、教育であったり、魅力あるまちづくり部会だけでは見えないところを逆に今回の会議の中で提案いただいたものも取り込める位置づけをいただいたらいいのではと提案させていただきます。

○藤野議長 そうですね。魅力発信というのとはまた一緒だけれども、ちょっと何か切り口が違うようなところにもなると思いますけれども、逆に例えば8番のほうに文章をつけ足すとしたらどんなことをつけ足したらいいですか。

○中村委員 健康・福祉部会では、何かみんなでやれるものを取り組んでやりたいみたいな、そういう取り組みがあれば情報発信して、健康体操であったり、腕相撲大会であったり、提案がそれぞれなのでどこをどうされるかはわかりませんが、何か決まってそういうことを取り組もうというのであればそういう取り組みを応援するとか、防犯であれば防犯で本当に回っているというか、こういうパトロールをしているとか、避難場所をスマホで自動配信していますというのが今後の取り組みでどう整備されるのかはわかりませんが、周知や啓発が必要やと思ってもらえるみたいなので、防犯・防災部会の周知・啓発という部分をサポートさせていただいたりとか、逆に子ども食堂とか学習支援の分であれば、教育・子育て部会はそういう提案をされているかなとは思いますが、どうですか。

○藤野議長 そうですね。そしたら例えば今お話を聞きながら考えていたんですが、市民の生活やまちの魅力に関わる情報を集約して発信できる仕組みづくりが必要という感じになりますかね。どうですか。

ほかの委員の方どうですか。こういう内容で報告しようかなと思いますけれども。

○西村課長 総合企画担当課長の西村です。情報発信をするという手法なんですけれども、それをすることでこんないいことがあるんだ、こんな目的のためにするよというのをもうちょっと教えていただければありがたいんですが、情報発信したことでこうなりますとか、そんなんありますか。

○藤野議長 この8番の項目というのは、どちらかという今この課題を挙げている感じなんですけれども、見ている人が特定の人であって、今、既に地域に入っている人が多く、逆に広く発信していくことで新しい担い手を集めることを目的とするというところなのかな、と。

○中村委員 まだつながるかどうかわからないんですが、今日、地域協働のほうにお邪魔したときに、異次元交流ライブに毎回来られている方がいろんな何かをやりたいと思っているんです。でもその取り組みがここにどう反映するかがわからないので、その方、豊新にお住まいなので豊新で紹介させていただきたいんですという形で今日お声をかけていただいたんですが、まだ会っていないのでわからないんですが、異次元交流ライブというのも一つの取り組みをされていての情報発信だと思うんです。地域活動協議会だけでやっても、豊新の人に幾ら配っていても上がってこなかった出会いが発信の取り組みの中で別の視点から別の取り組みの何かやろうという方との出会いがあるということで、偏ったといたら言い方が変ですが、やっぱり情報発信を続けないと集められないし、集めただけではばらばらになるので、やっぱりつなげる人も必要で、それに振り分けていただけるような取り組みを区役所、今日本当に声をかけていただいたところなので、出会いとかのシステム、ちゃんとした流れができれば本当にいろんな、本当にいろんな取り組みをされているんですが、取り組みだけで終わってつながらないのがまたもったいないかなと思って中井さんのところもいろ

いろ、いろんなつながりがある中で、地域と縛られると逆にできない取り組みもあるとは思っているので、地域を越えた取り組みとかも逆に地域で応援できるように、越えた取り組みも区全体とかまち全体で応援できれば、もっと取り組みができるというか、本当に魅力のある区に育つかなと思うので、そこら辺の調整をお願いできればと思います。

○藤野議長 今話をまとめて…。地域活動に関わること、まず最初に活動団体と活動したいと思っている人をつなげるために地域活動に関わる情報を集約して発信していく仕組みづくりが必要という感じが近いですかね。仕組みづくりというところ、難しいかなと。どうぞ。

○島田係長 福祉課担当係長の島田です。中村委員が初めにおっしゃった部分というのは、各部会に出ている情報発信の部分をうまく総合的に、例えばポータルサイトのような形かわかりませんが、総合的に発信することがあるん違うかというご意見かなというふうに感じたんですけども。

○中村委員 後からのとは別です。そうです。

○島田係長 1つ目はおそらくそういうことなのかと。要は区役所としてやっていることとか、総合的に見ると、ああ、いいまちやなと思える発信の仕方を各々の部会だけではなくて、連携して区として発信してはどうですかというご意見に思いましたが。

○中村委員 まちづくり、はい。

○島田係長 ただそれをどういう形でやるかは、僕らこれというのはありませんけれども、そういうものをどの部会がと、それをこの部会でやるとかそこまでのご意見ではなかったのかなとは思いますが。

○中村委員 どこまでのあれがあるのかわかりませんが。

○藤野議長 例えば区役所の広報活動としてやっていくということになれば、また広報担当もありますし、逆にもっと違う取り組みとして、していくのであれば、また違う形になると思うんですけども、そうですね。ただ発信していく、だから仕組みづくりというか仕掛けというか、そういうところが必要かなというお話。ただ対象が一つはこういうことをやっているという情報発信をもっとしていかなくちゃいけないということと、もう一つは、地域活動を活発にするための情報発信、多分今の話、その2つ。そしたらどうでしょう。

○乗上委員 発信の方法の話ですればいいんですか。ホームページ、SNSとか見ていない人たちのための発信。コンビニにこういう団体の人がこういうことをしたいとおっしゃっていますというようなこと。チラシならチラシを置かせてもらうスペースを設けていただくとか、区役所の魅力発信プロジェクトで少し話をしたことかな、壁がいっぱいあるからその壁にべたべた張れるスペースをつくったりとか、だからどんな団体の方でも発信ができますよという、そこへ行けばどんなことをみんなしてはるかということがわかる。

○藤野議長 その仕組みというのはどちらかという具体的な方法になってくるので、どちら

かという取り組みに向けてこの部会の意見のまとめという形では、仕組みづくりが必要というところでまとめていったほうがいい、具体的に何をするかではなくて。

○熊谷委員 大桐の熊谷です。今の話でも情報発信を軸に発表していくという流れで来ていると思うんですけども、せっかく魅力あるまちづくりということで、東淀川の魅力を広める会議ということと、それからずっと読んでいくと、つながりというのが一つのキーワードとして出てくるのかな。地域とのつながり、それから年配や子どもとのつながり、今、地域から離れている人とのつながり、そういったつながりを発信するためにこの情報発信が重要だというふうに持っていけば、今言ったことの全てのまとめになるかなと思います、そこをもう少し肉づけしていただければどうかと。

○藤野議長 特にということでなくてもいいという感じですね。その項目の中から大事なものを挙げる形でもいいですし、今この意見交換でさらに出てくれば、その違う形でもというところはあるんですけども。どんな感じでまとめていきましょう。はい、どうぞ。

○畠山課長 地域協働まちづくり担当課長の畠山です。情報発信については、区役所のホームページもきっちり仕組みづくりはできていまして、一部企業とかの宣伝のためにとかいうのはできませんけれども、異次元交流ライブの事前の応募であるとか、そういう部分についてはホームページでは使えます。既に今実践している部分があって、なおかつ地域が地域でもフェイスブックとかを立ち上げて情報発信をされている。そこは仕組みというよりも、仕組みはもうできているんですけども、仕組みを上手に活用できていないのかなと思っています。

我々のほうも、うまく地域のフェイスブックとうち区の事業をやれば地域の人が参加していたら地域のフェイスブックに載せていただいているということはたびたび見かけるんですけども、なかなかそれがうまく伝わっていないのは確かなのかなと思っています、あえて仕組みづくりという発言を藤野議長のほうからしてもらったというよりもからいただきましたが、さっき先ほどの熊谷委員が言われたいままじょうな感じで説明していただいたほうが、仕組みはこれからその仕組みを立ち上げようと思ったら大変なので、今現在できているんですけども、うまく活用されていない部分がありますので、仕組みにこだわるのではなくて、つながりとかうまく発信していくというようなことで発言願えたらいいのかなと思っています。

○藤野議長 考えるだけで時間が経ってしまいそうなので、どうしようかな。

○熊谷委員 大桐の熊谷です。じゃ、キーワードをみんなで挙げていこうで、それで順番を入れかえてという感じはいかがでしょうか。

○藤野議長 ありがとうございます。今のお話の中でキーワード、例えばまちの魅力であるとか、あとはつながりとか、そういうのが出ているんですけども、他、いかがでしょうか。

情報を集約して発信する仕組みというよりは発信された情報をどうするか。どう…。

○中村委員 最初に私が言ったので、熊谷さんがフォローしてくれたみたいに、さっき言った



つながりでいったら最初に提案したのは各部会の横のつながりで情報を集める。次、情報を発信して得た情報を逆に集約して回すというかつなげる。つながっていないと発信できない情報をつなげることによって大きく情報をさせてもらって、大きく広げた情報を集めることによっていろんなところに情報を送ることができるというか、配れるというか。だから私の中のキーワードはやっぱりつながりというのを、つながっているからこそ魅力があるというか、手が届くというか、魅力につながるのではないかなというのは思いました。

○中井委員 公募の中井です。担い手、新しい担い手に発信することによって得られる成果としては、キーワードとしてはそこでしょうか。

○藤野議長 今のところで、1つは活動している団体と活動をしたいと思っている人をつなぐ、もう一つはいろんな情報を集約して発信していただくだけではなくて、つなげて広めていくような取り組みが必要という感じですかね。

○熊谷委員 大桐地域の熊谷です。私ばかり申し訳ないですが、せっかくいっぱい意見が出ているので、この意見をまとめた魅力あるまちをつくろう！部会の意見発表なので、まず魅力あるまち部会では、いろんな具体的な魅力あるまちにするためのこんないろんな案が出ましたということの前置きを置いて、その中でつながりが大事だということが出てきた、それで先ほどおっしゃったように年齢や立場を問わずいろんな人をつなげるということが大事だとわかった、なので発信が必要だと思った。でも今の仕組みではまだ足りないので、そこを活用して次の担い手を育てるために発信の活用方法を考えていくというような流れはいかがでしょう。

○藤野議長 まとめになるような意見が出たんですけれども、という前置きがあって…。難しいな。情報を活用する方法を考えていくというほうがいいんでしょうか。だんだん何が正しいかわからなくなり始めているんですけど、どうが一番伝わるのかなと思っているんですけど。恐らく皆さんの思いが逆にここに強過ぎて難しくなってきたような気も……。

○熊谷委員 大桐の熊谷です。私も今までは発信するのが大事やと思っていたんですけれども、そうじゃなくて発信の仕方や活用の仕方のほうが問題だということが今日すごくわかったので、そこをアピールしてもらうのはいかがでしょうか。

○藤野議長 地域活動やまちの魅力に関する情報の発信の仕方や活用の仕方を考えていくという表現でいかがでしょうか。

○乗上委員 つながりをするのに、つなげていくためにこの区民まっりの活性化、具体的なものが要るような気もするんです。区民まっりの活性化、コンビニの活用とか。

○藤野議長 区民まっりの活性化というのは、多分11番のほうに一応入っているので、今回、具体的なことよりもどちらかというともうちょっとぼわんとしたというのも、ちょっとぼやかして、ふわっとしたイメージでいいのかなと思うんですけども、具体的にこれをする、あれをしますというよりは、こういう考え方が必要というか……。

○中村委員 30年度の取り組みになっているので、逆に区民まつりも継続して大きくして、その情報発信の場にはしていけたらと思うんですけども、区民まつりという名前はあれかもしれないですけども、一番身近な、一番区で取り組んでいる大きなイベントというのは区民まつりだと思うので、それが方向性をしっかり持つ意味づけを確認するというのは必要なと思います。ただ単に集まってやっているというか、区民まつりは多分意義はあるんでしょうけれども、伝わっていないので、逆に魅力あるまちづくりの30年度、あと何年、何年後かに向けての意味づけというか、魅力あるまちづくりのイベントにする。区民まつりをするのか、また別でそういう区を挙げたイベントをつくるのかはこれからだとは思いますが、考えていく上では外せない大きなイベントではないかなとは、思います。区民まつりはすごくみんなで行っているから、その規模を新たに組み込むのか、それか区民まつりをてこ入れするのかという部分でいうたら、やっぱり魅力あるまちづくりでイベントを考えていくなら並行して考えていかないと、どっちもが振られるとかなり負担も大きいのは大きい。

○藤野議長 ちょっとまた違う方向の話になってきた気もするんですけども……。

○中井委員 公募の中井ですけども、さっき議長が言われたところもう一回読んでもらえますか。

○藤野議長 一応、今、情報発信については、地域のつながりや新たな担い手を確保するためにまちの魅力や地域活動にかかわる情報の発信の仕方や活用の仕方を考えていく。

はい、どうぞ。

○島田係長 すみません、また混乱させたら申し訳ないんですけども、初めににぎわいのこととか、魅力から幾つかこの魅力部会で話し合ってきたことというのはやっぱり言ったほうがいいんじゃないかというのがあって、その後、中井委員から情報発信の大事さがあるって、その後、そこはポイントはポイントとして言っていたらいいのかなと思いました。

中村委員がおっしゃったように、ほかの部会でやっている一定の取り組みであったり、例えば防災・防犯なんかで犯罪率がすごく少なくなるような取り組みもしているということとか、要するに東淀川区は魅力あるまちやなという発信をするんやったら、この部会で出すだけじゃなくて、ほかの部会でやっていることも含めた情報発信のやり方を今の仕組みを少し活用してやったらどうだという意見が出ましたというようなことかなというふうに思うんですけども。

○中井委員 公募の中井です。ほかの部会の話なんですけど、それをまとめて発信することは区役所がしてくださっていることじゃないですか。それもそうだし、SNSとかホームページとかフェイスブックとかというような話でいうと既に知っていることとかが、区民まつりのほうで今あることを活用、今ある資源を活用していくというところがとても大事なと思うことと、あと、それは30年度の取り組みなのでここで答えを出す必要はないとは思いますが、やっぱり区内をつなげるというキーワードの部分で、人と人とか、やっている取り組みを

まずは知ってつなげることこそが、結果情報発信となって新たな担い手をつくり出すということになると思うので、まさに今期取り組んできました魅力発信プロジェクトというところを核にして取り組んでいきますというのでいいかなと。魅力発見・発信プロジェクトにしたらどうですか。発見することも大事なみたいなので、すみません。

○藤野議長 情報の発信のほうは最後につけるとして、例えば今、担い手とか地域力というところから出ているような項目に近いようなことを1つ入れて、もう一つ、にぎわいの11番の項目と最後に情報発信の話でまとめていったらいいかなと思ったんですけども、例えば1番かなという中で、何かこれっていうものがありますでしょうか。例えば1番であるのが、担い手がうまく世代交代をしていかなければいけないとか、あとは自助・共助の取り組みの中で町会の話とかの6番、7番に出ていますので、そういうところなのかなと思いますけれども。

○中村委員 本当にこの担い手・地域力は情報発信して募集ができてつなげられたらうまく回るような。担い手・地域力、回るんだと思うんですけども。

○藤野議長 あとはこれの意見等をまとめた感じのことを入れて、もう一つにぎわいのことで最後に情報発信という形で報告させていただく形でいかがでしょうか。じゃ、ありがとうございます。あとは文面は議長に一任させていただけたらと思います。

ありがとうございます。それでは、今議論させていただきました30年度に取り組むべき重要性の高い項目については、私より本会で報告させていただきます。

では、ここからは進行を事務局にお返しいたします。

○池辺係長 藤野議長、ありがとうございました。

毎回ご案内しておりますが、委員の皆様につきましては、本日の会議の議論内容を各地域活動協議会や所属の団体等でご説明いただき、各地域等からの意見をまたこの区政会議にフィードバックしていただきますようよろしくお願いいたします。

この後は、午後8時より3階区民ホールで区政会議本会議となっておりますので、引き続きご出席をお願いいたします。

これをもちまして、本日の区政会議、第2回魅力あるまちをつくろう！部会を閉会します。ありがとうございました。